

2025年度公募情報(競争的研究資金等)【応募単位:研究者単位】

No.184	令和8年度 地球規模保健課題解決推進のための研究事業 【若手研究支援あり】	
機関名	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構	
募集締切 (公募機関)	2026年3月19日(木)	正午(12:00) 日本時間(e-Rad) 【厳守】
本部研推締切日 事前連絡締切日	研究推進部 事前連絡締切日	2026年3月12日(木)
応募方法	<p>e-Radによる提出 ※e-Radへの応募情報の提出は各申請者が行ってください。</p>	
所属研究機関の 承認(e-Rad)	必要	
研究推進部 事前了解 (原議書の回付)	不要	
概要	<p>●事業概要 地球規模の保健課題は、母子保健や感染症等の従来の保健課題に加え、昨今、生活習慣病や高齢化なども脆弱国が抱える新たな課題となり、保健医療ニーズの増加や多様化への対応が必要になっています。 世界保健機関(WHO)のみならず、国連総会やG7等の主要国際会合においても、しばしば保健課題が主要議題として扱われる等、国際社会においてその重要性が益々高まっています。また、「持続可能な開発目標(SDGs)」では、改めて保健分野のゴールが設定され、国際的な取組が一層強化されています。一方我が国では、「健康・医療戦略」、「グローバルヘルス戦略」、「厚生労働省国際保健ビジョン」等、国際保健や医療の国際展開に関連する政府方針・戦略の策定が近年相次いでいます。</p> <p>これらの方針・戦略では、我が国が地球規模保健課題の取組みに貢献することが政策目標とされ、国際機関等との連携によるユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)や健康安全保障の推進、健康・医療に関する海外での活用の促進等が謳われています。 我が国は、限られた財源の中で、保健分野における国際政策を主導又は国際技術協力等を強化することにより、効果的・効率的に国際保健の海外での活用に貢献し、また、国際社会における存在感を維持・強化していくことが求められています。</p> <p>●公募内容 日本医療研究開発機構(AMED)は、当事業において、地球規模の保健医療課題に関して、疾病の原因究明、予防・治療・診断法の実用化に関する研究を推進しています。 令和8年度は、国際共同研究チームでの実装・臨床研究を通じ、国際的に公衆衛生上大きな課題となっている疾病(新興・再興感染症、生活習慣病、母子保健など)の低・中所得国の健康・医療問題改善に向け、<ul style="list-style-type: none"> ・既に国内外で有効性が実証されているものの対象国で普及されていない我が国で開発された医療機器・医療技術・医薬品の有効性、安全性、効率性等を評価するための国際共同チームでの臨床研究の提案を求めます。 ・対象国の臨床現場で導入・普及されていない我が国で開発された医療機器・医療技術等の実装研究を推進します。 本公募は、「若手研究支援」の対象です。公募研究開発課題の詳細は公募要領をご覧ください。</p> <p>1 低・中所得国の健康・医療改善に資する、医薬品・医療機器・医療技術等の海外での活用に向けた実装・臨床研究 ※若手研究者(研究開発代表者又は研究開発分担者)が1名以上参画する研究開発課題であること。</p>	

※ 貴部局にて申請がある場合は、事前連絡締切日までに所定の《事前連絡様式》にて、研究代表者名・研究分担者名等の連絡をお願い致します。

※応募に関するお問い合わせは各部局の担当者までお願いします。